



2013
ミスピーチキャンペーンクルー

齋藤 愛美 さん

福島の魅力とおいしさを 全国に発信!!

東北六魂祭は、これまで経験したことがない素晴らしいイベントでした。思い出す度、感動が胸がいっぱいになります。当日、私たちが緊張しているはお客さまも緊張してしまうと思います。まず私たちがイベントを楽しみながら福島の魅力伝えて行こうとクルー12人が団結して臨みました。



上/サクランボの販売を通して福島の果物をPRする齋藤さん 下/東北六魂祭が今年度の活動スタートとなった「2013ミスピーチキャンペーンクルー」の皆さん

「福島ふるさと広場」では、キュウリやサクランボのPRを行いました。お客様とのやりとりでは、話をしっかり聞くことを心掛けました。また、放射性物質の検査をきちんとしていることを説明すると皆さんは安心されました。おいしいものは人を笑顔にします。そのおいしさをこれからも多くの方に届けたいと思います。



1 今回のテーマ「福」の旗を掲げる福島第二小学校の児童 2 白煙を吐きながら華麗な飛行を披露したブルーインパルス 3 大空に描かれた東北6県の絆をあらわす輪 4 ミスピーチキャンペーンクルーを先頭にパレードがスタート 5 ハイタッチで絆を深め、感動を分かち合うパレード参加者と観客(撮影/平成25年度市民カメラマン 加藤秀雄さん)

メイン広場では多くの来場者を集め開祭式が行われ、東北六魂祭の開祭を宣言しました

福島市が熱狂!! 熱き魂のチカラを実感。



「東北六魂祭2013福島」のテーマは「福」。災い転じて福となす。と福島島の「福」を重ね、今回の祭典をきっかけに多くの幸福が訪れるようにとの願いを込めました。

初日は、市役所西側のメイン広場で開祭式が行われ、冒頭に震災犠牲者へ黙とうをささげた後、力強い和太鼓の演奏とともに祭りの幕が開きました。パレードに先立ち航空自衛隊・ブルーインパルスのアクロバット飛行が行われ、

東北6県の絆を表現した6つの大きな輪が大空に描かれ、これから始まるパレードを前に会場の期待と興奮は最高潮に達しました。

パレードの先頭を務めたのは、福島市の「福島わらじまつり」です。長さ約12メートル、重さ約2トンの巨大わらじと平成わらじ音頭、ダンシングソーダナイトの皆さん合わせて約300人が福島の元気を発信。その後を山形花笠まつり、仙台七夕まつり、すずめ踊り、盛岡さんさ踊り、青森ねぶた祭がパレードし、秋田竿燈まつりは、会場内の4カ所で稲穂に見立てた竿燈を肩や腰、手のひらなどに掲げる妙技を披露。2日間わたって、沿道からは大きな歓声と拍手が沸き上がり、会場が一体感に包まれました。パレードの復路は、戻り囃子が流れる中、参加者と沿道のお客さまによる「ふくしま」コールが巻き起こり、握手を交わしたり、ハイタッチをして、感動を分かち合いました。

パレード以外にも、メイン広場を含め5つの特設広場で、さまざまなステージイベントや、福島県内の祭りのPR、名物・特産品販売などが催され、多くの来場者の皆さんを楽しませていました。

また、昨年青森ねぶたと秋田竿燈が友情参加した、「ふくしま山車フェスタ」が街なか3会場で同時開催され、にぎやかなおはやしの演奏で、福島市伝統の祭りを来場者へアピールしました。

新浜公園 うまいもの広場



両日とも大盛況! 多くの来場者でにぎわったグルメブース。福島市をはじめ県内のうまいものが集結

稲荷神社など ふくしま山車フェスタ



心地よいおはやしに吸い寄せられるように集まった観光客